2026 年 3 月
北経連 事務局

2025 年度 北陸産学技術交流会　参加者アンケート結果

１．技術交流会の開催状況

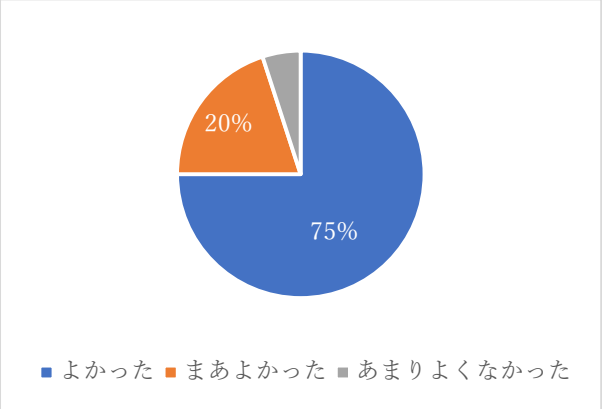
会員企業・大学に情報交換テーマを募集したところ３団体から３テーマの応募があり、提案団体（主催者）と打合せを実施した結果、２テーマで技術交流会（見学会）を開催した。

＜テーマ①＞
「金沢大学が取り組む社会課題解決に向けた『産学官金連携』による社会共創活動について
【日時】10 月 8 日(水) 14:00-16:00
【場所】金沢大学 未来知実証センター
＜テーマ②＞
「スマートファクトリー実現を目指した立山科学グループ工場見学」
【日時】11 月 5 日(水) 14:00-16:00
【場所】立山科学 本部工場

２．参加者アンケート結果　［回答：20 名（会員参加者 32 名）］

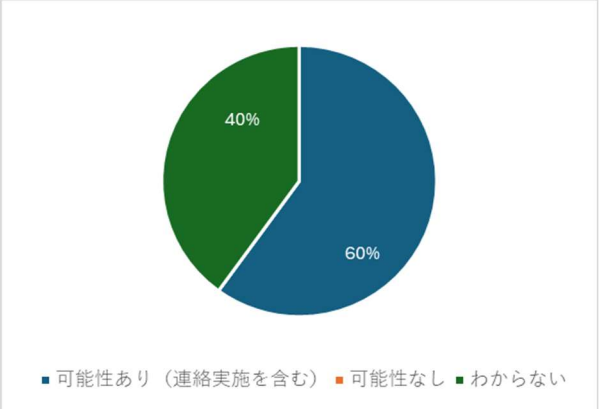
(1) 技術交流会に参加された感想は？

・よかった	15
・まあまあよかった	4
・あまりよくなかった	1



(2) 今後連絡をとりあう可能性はありますか？

・可能性あり（実施を含む）	12
・可能性なし	0
・わからない	8



(3) 自由意見（〇：肯定、△：改善・気が付いた点）

〇普段業務では接することの少ないテーマについて触れることができ、知見が広がった。
〇単独ではコンタクトしづらくこれまでは接点がなかったが、交流会で接点ができ、今後連携の可能性を感じた。
〇真新しい施設見学ができてよかった。
〇実際の取組みを見聞きすることができ、関心・理解が深まった。

△参加者同士の意見交換の時間が物足りなかった。
△事前に参加者を知り、交流会に向けた準備をしたかった。

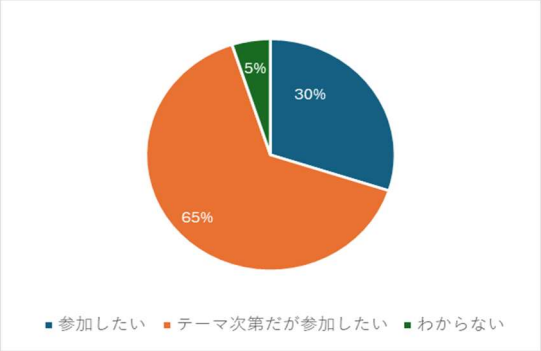
３．主催者からの声

・実際に施設を見てもらったことで、取組内容について正しく理解してもらえた。
・質問も多く寄せられ、今後の連携の可能性を感じた。
・これまで接点のなかった方々との連携のきっかけを掴むことができた。

４．事務局の評価と今後の対応案

・参加者アンケートでは、「よかった」が 75%、「今後連絡の可能性あり」が 60%となった。オープンイノベーション促進の契機となる交流の場を提供できたと考える。
・主催者からも、取組みを知って頂く機会となった、参加者との情報交換ができた、連携の可能性が拡がったなど良好な反応を得られた。
・今年度参加者の 9 割超が、次回以降の参加にも前向きであった。

＜参考＞
〇次回以降の技術交流会にも
参加してみたいですか？



・参加者名簿の事前送付を検討する。また交流時間をより長く確保するため、タイムスケジュールの改善に注意する。
・本取組みは一定の評価を得ているため次年度も引き続き開催する。

以　上